

令和2年7月20日

保護者の皆様へ

川崎市 教育長
小田嶋 満

新型コロナウイルス感染症への対応についてのお願い

日頃より、本市の教育活動に対し、御理解、御協力をいただいておりますことに感謝申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学校臨時休業等への御協力に対しまして、心より感謝を申し上げます。

さて、既に報道等で御承知のことと存じますが、市立学校において、児童や教職員の新型コロナウイルスへの感染が判明しており、当該校においては、学校施設の消毒及び、保健所による濃厚接触者の特定に要する期間を臨時休業として、感染拡大防止に努めております。感染が判明した方は病院等で治療に専念していただくとともに、濃厚接触があったと判断された方は、PCR検査結果が陰性であっても、2週間は自宅で待機していただく措置を講じております。

6月の学校再開以降、感染状況等の公表につきましては、感染者及び濃厚接触者やその御家族への配慮等の理由により、学校名の公表はしておりませんでした。

しかしながら、この間、不正確な情報や事実と異なる情報がSNS等を通じて様々な憶測や風評として流布されるなどの状況により、当該校のみならず周辺の学校にも影響が生じており、当該校においては、感染した子どもは勿論、その保護者・家族、また濃厚接触者に特定された子ども達やその保護者も、大変不安を高め、また、それ以外の児童生徒も根拠のない誹謗・中傷等により心を痛め、日常生活にも支障が生じるなど、大変大きな影響が発生しております。

本市では、学校以外の病院をはじめとした各施設において、新型コロナウイルスへの感染が判明した場合は、すでに施設名を公表しております。今後、教育委員会におきましても、この方針に合わせ、学校名を含めて必要な情報を公表することで、憶測や不確かな情報による混乱や風評被害等が生じないように取り組むとともに、当該校と十分に連携し、児童生徒を様々な誹謗・中傷・差別的言動から守る取組を進めてまいります。

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。子どもたちの人権を守るためには、差別的言動や噂等に同調しないことが何よりも大切です。そのような言動によって、子ども達の不安はさらに高まり、心が傷つきます。

各学校においては、感染防止の取組とともに、児童生徒や関係者を誹謗・中傷や差別的言動から守る取組を進めてまいりますので、保護者の皆様方におかれましても、何卒教育委員会と学校の取組に御理解、御協力をいただき、お力添えを賜りますことを、心よりお願い申し上げます。